

みらいの科学者

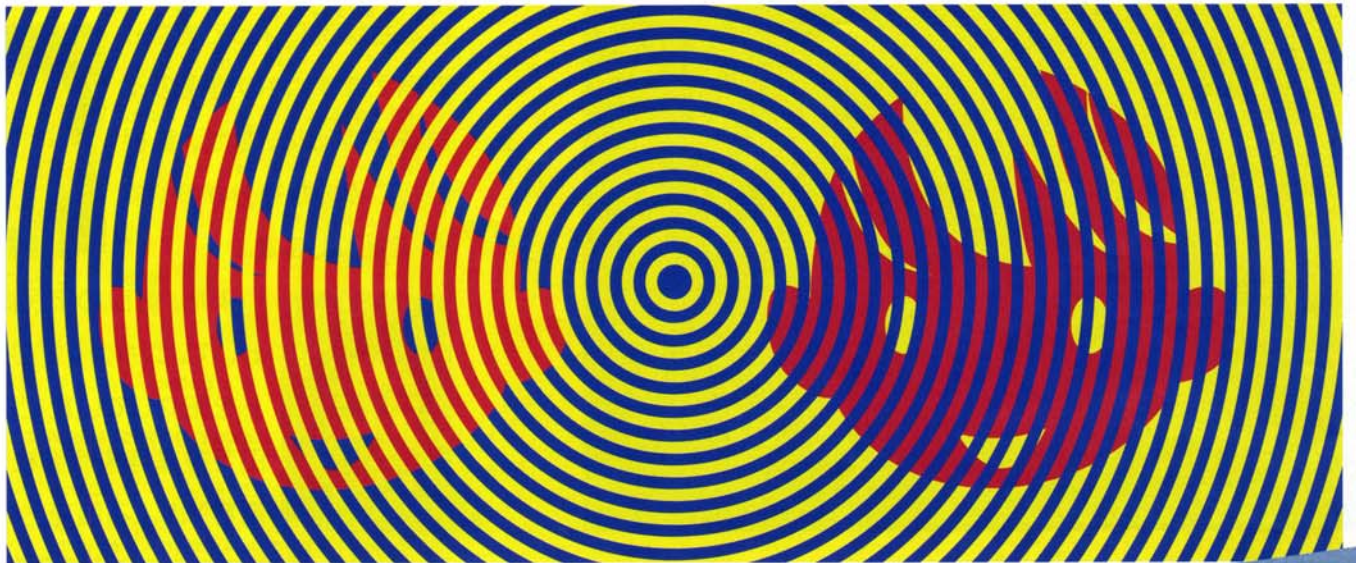
第11回 岡崎げんき館・せいりけん 市民講座

大集合!!

みんなで実験!

入場無料
先着200名様

錯視の不思議な世界



© 鯉田孝和 / 豊島美穂 / 生理学研究所



左右のボクの顔色
実は同じ色って本当?

小学生以上を対象とした
とても分かりやすい講座です!
ぜひご家族でお越しください。

左右の男の子の顔色は、違って見えませんか?
でも、実は両方同じ色なのです。
これはMunker錯視と呼ばれる錯視です。
どうしてこのような錯視がおきるのか、
脳の動きとの関係を変えて
分かりやすくご紹介します。

実験コーナーで
錯視を体験できるよ!

どこからみても
君を見つめている!?
不思議な「ブレイン君」



ペーパークラフトを作って
錯視を体験しよう!
作ったものは
プレゼントするよ!

角度をかえてみると...
あら、不思議。
この物体が回りました!?



解説
せいりがけんきゅうじょ
生理学研究所 鯉田孝和
とよたこうぎょうこうとうせんもんがっこう
豊田工業高等専門学校 早坂太一

2010年
1月30日 土

午後1時30分～3時

場所 岡崎げんき館 3階講堂 〒444-8545 岡崎市若宮町2丁目1番地1

定員 200人【先着順】
●当日、会場に直接おこしください。
定員を超えた場合は、入場をお断りすることがあります。
また、小学生までのお子さんは、保護者のかたと一緒にお越しください。

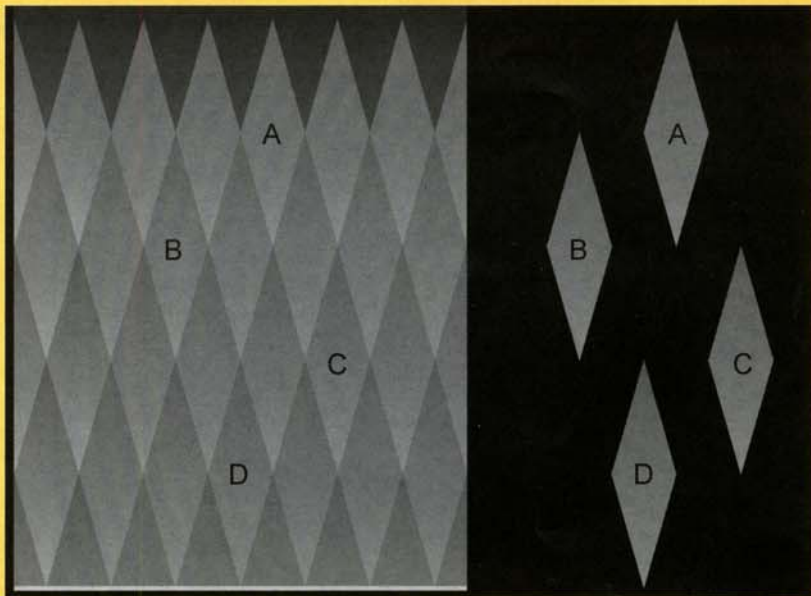
お問い合わせ先 岡崎市保健所総務課企画班 (岡崎げんき館2階) TEL0564-23-6807

主催: 自然科学研究機構 生理学研究所 (せいりけん)、岡崎市保健所

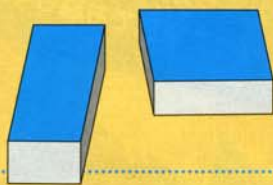
なんで? どうして? 不思議な錯視の世界

今回の市民講座では、目の錯覚—錯視—について、脳の働きとの関係を交えて分かりやすく紹介します。

下の図は錯視のほんの一例です。この他にもいろいろな錯視がありますよ。さあ、皆さんも、市民講座でたくさんの不思議を体験しましょう!



左の図は、下にいくほどひし形が濃くなっているようにみえませんか? 実は同じ濃さのグラデーションのひし形が積み上がっているだけなのです。A,B,C,Dを抜き出したものが右の図です。



シェパード錯視

左右の水色の四角は、実は全く同じ形なのですが、左の方が細長く見えます。

シェルナー錯視

線が上にいくほど、狭くなっているように見えませんか。じつは、この縦の線は、2本とも平行なのです。

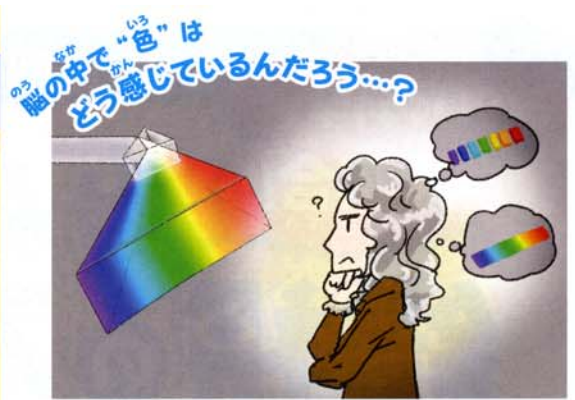


楽しい実験コーナーもあるよ!

ペーパークラフトを作って、錯視を体験してもらいます。作ったものは、プレゼント!

どくろ回る不思議な物体?

どこからみても、コッチをみてみる?



生理学研究所の鯉田孝和先生は、色を中心に様々な研究をされています。色は、同じ色でも状況によって異なって見えます。色の錯視の不思議を中心に、なぜ、錯視が起こるのかを分かりやすく、ご紹介します。



鯉田孝和先生

また、前回の市民講座において、ロボカップのロボットを紹介していただいた豊田工業高等専門学校(豊田高専)による講座もあります。



早坂太一先生

今回は、早坂太一先生の登場です。早坂先生と一緒に、ヒトを対象とした心理物理の実験やコンピュータによるシミュレーション実験結果を交えながら、錯視の世界をのぞいてみましょう。

実験コーナーでは、「せりけんブレインサイエンスクラフト」を皆さんに作ってもらい、楽しく錯視を体験してもらいます。

会場のご案内

岡崎げんき館 〒444-8545 岡崎市若宮町2丁目1番地1
OKAZAKI GENKIKAN



アクセス	東西ルートの「まちバス」が30分間隔で運行します。 (中岡崎—市役所—岡崎げんき館) ※バス停は岡崎げんき館の敷地内にあります。ぜひご利用ください。
名鉄バスをご利用のかた	東岡崎駅北口バスターミナルより乗車し、「岡崎げんき館前」バス下車。
自動車をご利用のかた	駐車場(220台)の入口が敷地南側にあります。